



つくば市イメージ
キャラクター
フックン船長

もっと知りたい!

つくば市

第8号

ばん

かわら版

ごみ問題は、
動画でも連動して
取り上げています!



つくば市長 五十嵐立青

2022年4月15日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ つくば市のごみ問題のこと、もっと知りたい!(続報)

今日、環境問題への関心は世界的に高まりを見せています。アメリカ合衆国カリフォルニア州(生ごみの堆肥化を義務化)や徳島県上勝町(リサイクル率80%超)などでの取り組みがその代表例として注目されており、つくば市でも、『つくば市未来構想』の中で「市民一人ひとりが地球環境に優しい選択を積み重ね、最適な生産や消費、再資源化、再利用などを進めることで、『ごみ』という言葉がなくなっている未来」を目指し、さまざまな取り組みを進めています。かわら版第2号でお伝えした最終処分場問題の現状をご報告するとともに、持続可能都市の実現に向け、ごみを減らしていく必要性についてあらためてお知らせします。

問 ▶ 環境衛生課 ▶ サステナスクエア管理課

ギモン

01

ごみの最終処分場のことは、結局どうなったの?

かわら版第2号で、最終処分場がピンチって言ってたけど、どうなったの?

そうですね、まずはおさらいから。つくば市には、ごみの焼却灰や燃やせないごみの一部を埋め立てる「最終処分場」がありません。なので、これまでは下妻市や山形県にある民間の最終処分場に引き受けてもらっていました。

確か、下妻市の最終処分場が使えなくなることがわかったんだよね?

そうなんです。あと5年は大丈夫と言われていたのですが、2021年に突然「2021年度限りでいっぱいになってしまう」と言われ…。すぐに代替りの最終処分場を必死に探しました。その結果、なんとか見つけることができました。

そうなんだ!どこに決まったの?

今まで引き受けてくれていた山形県に加え、新たに秋田県と青森県にある民間の最終処分場に引き受けてもらうことになりました。それぞれ15年以上先まで使える余裕があり、他自治体からの受け入れ実績もあるので、お願いすることにしました。

じゃあ、これで最終処分場の問題は解決したんだね!ひと安心!

いいえ、大事なことを忘れていませんか。かわら版第2号でもお話したとおり、どの最終処分場もずっと使い続けられるわけではありませんし、そもそもごみ処理にはとてもお金がかかります。今後使わせてもらう最終処分場はいずれも遠いところにある分、運搬費もかかり、下妻市にあった最終処分場よりも処分費用などが高くなってしまったため、市の財政負担はさらに大きくなる見込みです。

埋め立てる量を市でもっと減らせないの?

かわら版第2号でも紹介したとおり、市では焼却灰を再資源化することで埋め立てる量を減らしています。ただ、その費用は埋め立てにかかる費用よりもさらに高いんです。2022年度から再資源化量を今までに比べて大幅に増やす予定ですが、その分たくさんのお金が必要になります。市の限りある財源を効果的に使っていくためにも、市民一人ひとりがごみそのものの量を減らし、ごみ処理にかけるお金を減らしていく必要があるんです。

つくば市



裏面で、ごみを減らすために
できることをおさらいしよう!

これからわたしたちができること、 考えてみよう！

「生ごみ」「プラスチック製容器包装」編

ごみ分別アプリ
「さんあ〜る」で
賢く分別しましょう



ごみを減らすなら、まずは燃やせるごみを見直すのが大事だったよね！



そのとおり！その中でも、今回は生ごみとプラスチック製容器包装を再確認しましょう。まずは生ごみから。生ごみを減らすキーワード、覚えていませんか？



えっと…確か…「3きり運動」？



正解！「使いきり」「食べきり」「水きり」のことでしたね。買った食材は使い切ること、食べ残しをしないこと、そして、しっかり水気を切ること。これらを実践することは、ごみが減るだけでなく、食品ロスを減らすことにもつながるので、とても効果的なんです。さらに、水きりの効果は意外と大きいんですよ。



え、水きりにそんなに効果があるんだっけ？



そもそも、生ごみに水分が残っていると、施設で焼却するのに時間がかかってしまいます。その分燃焼費がかかるので、環境にも市の財政にもやさしくありません。なので、どうか皆さん、生ごみの水きりにご協力ください。



3きり運動が大事なのは思い出したけど、そもそも生ごみにしない工夫はないの？



オススメなのは「段ボールコンポスト^{*}」です。身近な材料で安価に作れますし、電気を使わないので環境にもやさしい優れものなんです。もちろん市販の「生ごみ処理機」でも大丈夫！市では、「生ごみ処理容器等購入補助金」というサービスを用意しています。2021年度はすぐに予算がなくなりましたが、2022年度は年間を通して利用いただけるよう、**予算を大幅に増やしました(2021年度比3倍)**。市民の皆さま

※コンポスト…「堆肥」または「堆肥をつくる容器」のこと。

んにはこのサービスを積極的に活用していただき、ごみが出ない循環型社会を一緒に実現させましょう！



それなら、この調子でプラスチックごみも減らしたいね！



素晴らしいです！プラスチックごみを減らすには、何よりもまずプラスチック製品の購入をなるべく控えること。マイボトルやマイバッグの活用などが身近な例ですね。どうしても出てしまうときは、「プラスチック製容器包装」かどうかを確認しましょう。プラマーク[㊦]が付いていたなら、分別して「プラスチック製容器包装」の収集日に出してくださいね。詳しい分別方法はかわら版第2号や市ホームページでご確認ください。



でも、プラスチック製容器包装の収集日が少なくて、置く場所に困っているんだよね！



そのようなお困りの声を数多くいただいていたので、2022年10月から、**収集日を月2回から月4回に増やす**ことにしたんです。ただ、やはりその分、収集にかかる費用も増えます。この費用を無駄にせず、「持続可能なまち」を実現するためにも、私たち一人ひとりが分別を徹底し、ごみの減量につなげていきましょう。

何よりもまず、ごみを出さないこと。

最終処分場が見つかって、ごみ問題は解決していません。これまでお話ししたとおり、ごみ処理には莫大な費用を要します。「持続可能なまち」を実現するためには、分別の徹底はもちろん、何よりもごみそのものを減らしていくことが必要です。限りある財源を必要性の高い事業に使っていただけるよう、引き続き皆さまのご協力をお願いします。

アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい!つくば市かわら版 第8号』をお読みになった感想などをお寄せください(各号ごとのアンケートとなります)。



※個別の質問にお答えすることはできません。▶ <https://bit.ly/3LorfiY>

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも!



市ホームページ



マチイロ



YouTube

